

アルミ屋根・防風板採用

住軽日軽 エンジ 青海・台場クロスウォーク

東京湾岸道路(国道357号線と首都高速湾岸線)のお台場中央交差点にX形曲線の橋「青海・台場クロスウォーク」が、南北横断の歩行者連絡橋として昨年末に開通した(写真)。

同橋は橋長約141m、昇降階段9基(階段5基、斜路付き階段4基)、昇降用エレベータ

14基を持つ国内最大級の道路横断連絡橋。歩行者への配慮として風雨対策が施されており、本橋部、階段・斜路付き階段部の全てに、住軽日軽エンジニアリングの約2000平方mのアルミ製屋根(アルミ製枠+耐候性ポリカーボネイト)と延べ約1100mのアルミ製防風板(アルミ製高欄

+耐候性ポリカーボネイト)が採用された。

アルミ製屋根とアルミ製防風板を使用することで、軽量化による横断デッキ全体の大型化と、美しくスタイリッシュな透明感を実現した。

アルミは高耐食性のため、腐食、劣化などに大きな威力を発揮し、お台場のような海浜に隣接して塩害に晒されやすい地区でも、塗装の必要がなくて、維持管理の省力化、LCCの低減なども可能

となる。

住軽日軽エンジは、アルミ製の屋根や防風板が、同橋に採用され、高

い評価を得たことで今後も新市場の掘り起しに鋭意営業展開を行うとしている。(永島誠司)

